

## 2歳児 I期（4月～5月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活や環境に慣れ、安心して過ごす。</li> <li>・保育者に見守られながら、自分のしたい遊びを楽しむ。</li> <li>・保育者の手助けを受けながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な小動物や草花に興味をもって、見たり触れたり集めたりなどする。</li> <li>・積木を並べたり、積んだりすることを楽しむ。</li> <li>・水、砂、泥など様々な素材に触れる。</li> <li>・「同じ」「大きいね」「黄色だね」など遊びの中で色や形、大きさなどに気付く。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中で簡単な挨拶や返事をしたり、生活に必要な簡単な言葉を使ったりする。</li> <li>・保育者や友達の名前を覚えて呼んでみる。</li> <li>・生活に必要な簡単な言葉が分かるようになる。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者に好きな絵本を読んでもらったり、知っている歌や手遊びを一緒にしたりする。</li> <li>・音楽に合わせて体を動かして遊ぶ。</li> <li>・積木やお手玉などを乗り物や食べ物に見立てて遊んだり、人形やままごと道具を使ったごっこ遊びをしたりする。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活の場や人に慣れ、好きな玩具や遊具で遊ぶ。</li> <li>・友達のしている遊びをまねて、同じことをしようとする。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人遊びを楽しみながら、保育者の仲立ちで、近くにいる友達に関心をもつ。</li> <li>・保育者のそばで安心して過ごす。</li> <li>・保育者と一緒に好きな遊びを楽しむ。</li> <li>・「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をし、食事の区切りを感じる。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のロッカーや靴箱、自分の物の置き場所が分かる。</li> <li>・「待っててね」と言われ、少しの間、待とうとする。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の手助けを受けながら、排せつ、着脱、昼寝などをしようとする。</li> <li>・自分の物と人の物との違いが分かる。</li> <li>・スプーンを使って一人で食べようとする。</li> <li>・同じテーブルの友達と一緒に食べることを喜ぶ。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走ったり、三輪車や滑り台などを使ったりして戸外で体を動かして遊ぶ。</li> <li>・全身を使った遊びを楽しむ。(体操、巧技台での遊びなど)</li> <li>・近場への散歩を通して階段、でこぼこ道、坂道などを歩くことを楽しむ。</li> <li>・粘土、のり、クレヨン、ボタン、パズル、手遊びなど、指先を使った遊びを楽しむ。</li> </ul>

### <指導例>

#### ◇ 新聞紙で遊ぼう

一人一人が安心感や開放感を味わい、楽しんで遊ぶ。

#### ここで遊びたいな

絵本、連結電車、ミニカー、ブロック、粘土、お絵描きなどから自分の好きな遊びを選び、一人で又は保育者と関わりながらゆったりと遊ぶ。

### <援助のポイント>

- ・一人一人の気持ちを大切に受け止めながら丁寧に対応し、信頼関係を築いていく。
- ・食事、排せつ、睡眠など安心して生活できるように保育者がゆとりをもち、ゆったりとした生活リズムと雰囲気づくりを心掛ける。
- ・「きれいになったね」「靴が履けたね」など子供のしたことやしようとしていることを言葉に表して伝え、うれしさや満足感を味わえるようにする。そこから、自らやってみようとする意欲につなげていく。

### <家庭との連携>

- ・新しい環境での子供の様子を細やかに知らせ、安心してもらうとともに、保護者との信頼関係を築いていく。
- ・保育室など生活環境が変わるため、子供は心身ともに疲れやすくなり、甘えが見られることもある。子供の様子を互いに伝え合うなど、連携を密に取るようにする。

## 2歳児 Ⅱ期（6月～8月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂、水（プール、水遊び）、泥などの感触を全身で味わいながら、思い切り遊ぶ。</li> <li>・友達に関心をもち、同じ場で過ごしたりまねしたりすることを喜ぶ。</li> <li>・保育者の手助けを受けながら、簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。</li> </ul>
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な小動物や植物に興味をもち、保育者と一緒に気付きや発見を喜ぶ。</li> <li>・水、砂、土、泥などに触れて感触を味わい、伸び伸びと遊ぶ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉しかったことや困ったこと、印象に残ったことなどを話そうとする。</li> <li>・身の回りのことに興味をもち、「これなあに」「どうして」と盛んに質問をする。</li> <li>・絵本や紙芝居の中の簡単な言葉を繰り返すことを喜ぶ。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土や小麦粉粘土を使い、ちぎる、伸ばす、丸めるなど、自由に楽しむ。</li> <li>・クレヨンや絵の具で自由に描いたり遊んだりすることを楽しむ。</li> <li>・身近な物を見立てたり、好きなものになって遊んだりすることを楽しむ。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のしていることに関心をもち、同じ場で遊んだりまねたりすることを喜ぶ。</li> <li>・保育者を仲立ちとして友達と関わって遊ぶ。</li> <li>・自分のしたいことや、してほしいことを言葉やしぐさで伝える。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達との関わりの中で、自分の気持ちを安心して表す。</li> <li>・保育者に対し、「～したよ」「～だから」など出来事を思い出して話すことを喜ぶ。</li> <li>・「自分で」と自己主張をし、何でも自分でしようとする。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊んだ後に、保育者と一緒に遊具を片付けようとする。</li> <li>・自分の物、人の物の区別がつく。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の誘いで、トイレで排せつしようとする。</li> <li>・保育者のそばで、安心して眠る。</li> <li>・スプーンやフォークを使って食べたり、友達と一緒に食事をするを楽しんだりする。</li> <li>・できないところは保育者に援助されながら、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩く、走る、登る、降りるなどの行動や、段差のある場所での遊びを通して、十分に身体を動かして遊ぶ。</li> <li>・リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ。</li> </ul>

### ＜指導例＞

#### ◇ 洗濯ごっこ

水の感触を味わい、生活経験を取り入れたごっこ遊びを楽しむ。

#### ペッタン、ペッタン、楽しいな

空き容器やスポンジ、野菜などに絵の具を付けて、スタンプング（型押し）をする。型が写ることや、形の面白さ、色のきれいさを感じ、繰り返し楽しむ。

### ＜援助のポイント＞

- ・一人一人の不安、欲求、甘えなどを丁寧に受け止めて信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。
- ・一人一人がじっくりと遊べるような環境を準備し、その子なりの遊び方を一緒に楽しみ、認めていく。
- ・自分でやろうとする気持ちを受け止めながら、必要に応じて適切な手助けをしていく。
- ・基本的な生活習慣については、個々の実態に合わせてきめ細やかな援助をし、自分でできた喜びや満足感をもち、気持ちよく過ごせるようにする。

### ＜家庭との連携＞

- ・子供が何でも自分でやりたがり、盛んに自己主張をするため、保護者が子育てに戸惑いや不安を感じる時期でもある。保護者会などで保護者同士が率直な思いを出して話せるようにしたり、この年齢の発達の道筋を伝えたりして、保護者の気持ちに寄り添い、一緒に子供の育ちを見守っていく。
- ・子供が自分でできる喜びを感じられるように、着脱しやすい服や脱ぎ履きしやすい靴を準備してもらるように伝える。
- ・感染症（とびひ、結膜炎、溶連菌感染症など）について、家庭に知らせ、健康状態について連絡を密にする。

## 2歳児 Ⅲ期（9月～10月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な大人の言葉や行動をまねたり、面白いと感じたことを繰り返して遊んだりする。</li> <li>・保育者や友達との関わりの中で、自分の思いや要求を伝えようとする。</li> <li>・戸外で身体を十分に動かして遊んだり散歩に行ったりする中で、伸び伸びと遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な用具の名前や使い方に興味をもち、保育者と一緒に使ってみる。</li> <li>・木の葉や木の実を喜んで集め、それを使って遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な容器や袋、布、ひも、箱などを使い、一人でじっくりと繰り返し遊ぶ。</li> <li>・楽しかった経験を自分なりの言葉で伝えようとする。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達のおしやべりを楽しむ。</li> <li>・好きな絵本や紙芝居を何度も見たり読んでもらったりする中で、興味をもった言葉や動作をまねて遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に好きな歌を歌ったり、音楽に合わせて身体を動かしたりして遊ぶ。</li> <li>・保育者と一緒に紙をのりで貼ったり、はさみで切ることを楽しんだりする。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が仲立ちとなり、少人数の友達と一緒に遊ぶ。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したことの中で同じようなイメージをもって、見立てて遊ぶことやごっこ遊びを保育者と一緒に楽しむ。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との玩具の取り合いや気持ちのぶつかり合いなどの中で、保育者を仲立ちとして、相手の思いを知る。</li> <li>・簡単な手伝いを喜んでする。</li> <li>・保育者の援助で、「順番」や「交代」などのルールがあることを知る。</li> <li>・保育者の言葉掛けで危険なことに気付く。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿意、便意を知らせ、自分からトイレに行こうとする。</li> <li>・こぼしたり汚したりしないで食べられることを喜ぶ。</li> <li>・保育者に見守られながら、自分で衣服や靴の着脱をしようとする。</li> <li>・自分の物の簡単な支度や始末をする。</li> <li>・手洗いや「ブクブクがいがい」を保育者と一緒にする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な遊具や用具に触れながら、戸外で十分に身体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・かけっこや追いかけて遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・遊びを楽しむ中で、走る、両足ジャンプをする、一本橋を渡るなど、様々な身体を動かす。</li> <li>・低めの固定遊具、低めに調整した巧技台などですすんで身体を動かして遊ぶ。</li> </ul>

### <指導例>

#### ◇ かけっこをしよう

自分なりに思い切り走る楽しさを感じる。

#### どんぐりを使って遊ぼう

拾ってきたどんぐりを食材に見立ててままごと遊びに使う、ペットボトルに入れて作った手作りマラカスで遊ぶなど、自然物と関わって遊ぶ。

### <援助のポイント>

- ・自分の気持ちや要求を自分なりに相手に伝えようとすることを大切にする。その際、具体的に言葉で知らせたり伝えたいことを仲介したりするなど、伝えようとする気持ちを支え、伝わったうれしさを感じられるようにする。
- ・個々の発達の様子を把握し、それぞれの子供が楽しめる運動遊びを工夫していく。

### <家庭との連携>

- ・自我の芽生えや自分でやろうとする気持ちを受け止めて経験させることで、子供が変容してきていることを具体的に伝えて成長を確認し、保護者を支えていく。
- ・運動会や遠足など、行事が多くなることを伝え、子供が動きやすい靴や着替えを用意してもらうようにする。

## 2歳児 Ⅳ期（11月～12月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と言葉のやり取りを楽しんだり、自分の思いを自分なりの言葉で表そうとしたりする。</li> <li>・保育者や友達と一緒に、見立てたり、なりきったりして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>	
学 び の 芽 生 え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音、色、匂い、量などに気付き、興味をもつ。</li> <li>・保育者や友達に自分のしたことや思ったことを自分なりに伝えることを喜ぶ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しのあるやり取りや面白い言い回しのある絵本や紙芝居を見ることを喜び、自分で言ったり好きな場面を再現したりして遊ぶ。</li> <li>・保育者や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて身体を動かすことや自分なりの表現遊びを楽しむ。</li> <li>・簡単な楽器（カスタネット、鈴、タンバリンなど）に触れ、鳴らして遊ぶ。</li> </ul>
人 と の 関 わ り	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と言葉のやり取りを楽しみながら、ごっこ遊びをする。</li> <li>・自分の要求を自分なりに相手に伝えようとする。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこやかくれんぼなどで友達と同じ役になって遊ぶことを喜ぶ。</li> <li>・保育者に褒めてもらうことを喜び、頑張ろうとする。</li> <li>・自他や善悪の区別が少しずつ分かるようになる。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入れて」「貸して」など、遊びや生活に必要なことが分かり、やってみる。</li> <li>・保育者の援助を受けながら、遊びの中で順番や交代をする。</li> <li>・保育者と一緒に簡単なルールのあるゲームや遊びを楽しむ。</li> </ul>
生 活 習 慣 ・ 運 動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手なものも少しずつ食べてみようとする。</li> <li>・フォークやスプーンを正しく持とうとし、食器に手を添えてこぼさずに食べようとする。</li> <li>・手や口など体が汚れたことに気付き、自分できれいにしようとする。</li> <li>・保育者と一緒に食前や排せつ後の手洗いをする。</li> <li>・保育者の援助を受けながら、「プクプクうがい」や「ガラガラうがい」を場面に応じて行う。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尿意、便意を感じて、自分からトイレに行こうとする。</li> <li>・トイレトペーパーの使い方など排せつ後の始末の仕方を知る。</li> <li>・保育者と一緒に脱いだ衣服をたたんだり、片付けたりしようとする。</li> <li>・登る、押す、引っ張るなど、全身を使う運動遊びをする。</li> <li>・ボールを蹴る、投げる、転がす、受けるなどして遊ぶ。</li> </ul>

### <指導例>

◇ **がらがらどんごっこは楽しいな**  
保育者との関わりや言葉のやり取りの楽しさを味わう。

### 先生、赤ちゃんになって

保育者を赤ちゃん役（世話をする対象）にし、寝かしつけたり病院に連れて行ったりしながら、おうちの人の役になりきって遊ぶ。

### <援助のポイント>

- ・部屋の換気や湿度設定をこまめに行う、手洗い、うがいを促すなど、風邪の予防に努める。
- ・前開きやかぶりの服の着脱やたたむことなど、子供と一緒に身の回りのことを行いながら、できたことを保育者も共に喜び、認めていく。
- ・友達との関わり方を伝えながら、一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように仲介役になっていく。

### <家庭との連携>

- ・保護者の育児の悩みや子育ての参考になる情報を、クラスだよりなどを介して紙面上で交流し合い、安心して楽しく子育てができる環境づくりをしていく。
- ・子供がやりやすい衣服の裏表の返し方や、園での声の掛け方を具体的に知らせ、家庭でも行えるようにする。また、自分でできたという喜びが感じられるように、家庭でも見守ったり、認めたりしてもらうように伝えていく。

## 2歳児 V期（1月～3月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味のあることや経験したことなどを、保育者と一緒に自分なりに好きなように表現する。</li> <li>・保育者や気の合う友達と関わることを喜び、ごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でし、進級を楽しみにする。</li> </ul>
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年上の子供がやっていることに興味を示し、まねてやろうとする。</li> <li>・雪、氷、霜柱など冬の自然に接し、見たり触れたりして遊ぶ。</li> <li>・少しずつ身の回りの形、大小、長短、数などに気付く。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことや感じたことを自分なりの言葉で伝えたり、保育者や友達とおしゃべりを楽しんだりする。</li> <li>・生活に必要な簡単な言葉が分かり、使おうとする。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しの言葉や楽しいやり取りの出てるお話の面白さを感じ、喜んで聞く。</li> <li>・指先を使い、合わせ折りや好きな折り方をして楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に、のり、はさみ、絵の具、粘土などの材料や用具を使い、作って遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気の合う友達2～3人で、ごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・クラスの友達と一緒に、話を聞いたり手遊びや体操をしたりすることを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達と、鬼ごっこや簡単なルールのあるゲームで遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に話し掛けたり、自分の知っていることを伝えたりして関わることを喜ぶ。</li> <li>・保育者や友達に自分のしてほしいことを言葉で伝える。</li> <li>・できるようになったことや大きくなったことを認められ、進級することに期待をもつ。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの物に気付き、自分なりに、順番に使ったり分け合ったりするなど、貸し借りをしながら使おうとする。</li> <li>・生活の中できまりがあることを知り、簡単なきまりを守ろうとする。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食前、排せつ後の手洗いを自分でしようとする。</li> <li>・様々な食べ物をすすんで食べようとする。</li> <li>・フォークやスプーンを使い、こぼさないように食べようとする。</li> <li>・外から帰ったときや食後は、うがいをする。</li> <li>・尿意、便意を感じて自分からトイレに行き、排せつの後始末を自分でしようとする。</li> <li>・手を拭く、鼻汁をかむなど身の回りのことを自分からしようとする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で衣服を着脱し、たたむなど始末をしようとする。</li> <li>・冬の自然に触れながら戸外で遊ぶ。</li> <li>・散歩に出掛けることを喜び、身体を十分に動かして遊ぶ。</li> </ul>

### <指導例>

#### ◇ 大きいクラスで遊んでみよう

大きくなった喜びを感じ、進級への期待をもつ。

#### 鬼ごっこは楽しいな

簡単なルールの中で、保育者や友達と一緒に、追ったり追われたりすることや走ることを楽しむ。

### <援助のポイント>

- ・気の合う友達が出てくるが一緒に遊ぶことばかりを優先せず、一人一人が思いや自分のやり方を十分に出しながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じられる場面を大切にします。
- ・ルールのある遊びでは、ルールは分かっているが受け入れられない子供もいる。その気持ちを受け止め、一緒に遊んで楽しかったという思いがもてることを大事にする。
- ・身体を動かすことや遊具を使うことを好むようになり、力やスピードも付いてくる。安全には十分に気を付けながら様々な経験ができるようにする。
- ・身の回りのことを自分でできるようになった喜びに共感し、進級への期待につなげる。

### <家庭との連携>

- ・日常の具体的な姿から一人一人の子供の成長を伝え、喜び合うことで、子供も保護者も進級への期待や安心感をもてるようにする。また、集団としての子供たちの成長や、子供同士の関わり方など、3歳児での成長につながっていくことを伝える。
- ・進級に伴い、園と家庭の連絡方法や持ち物などが変わる場合にはあらかじめ説明をし、保護者も安心して移行できるようにする。

### 3歳児 1期（4月～5月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との関わりを基盤にして新しい環境に慣れ、気に入った場や遊具で遊ぶようにする。</li> <li>・保育者の愛情を感じ取り、安心して生活する。</li> <li>・身の回りのことや自分でできそうなことを、保育者と一緒に行いながら園での生活の仕方を知る。</li> </ul>		
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">進級児</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">新入児</td> </tr> </table>	進級児	新入児
進級児	新入児			
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい保育室での遊びや遊具に興味をもち、自分の気に入った場や遊具で繰り返し遊ぶ。</li> <li>・飼育動物や栽培している植物など、身近な自然に触れて楽しむ。</li> </ul>		
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や「入れて」「貸して」などの遊びに必要な簡単な言葉が分かり、使ってみる。</li> <li>・楽しかったことを保育者に言葉で伝えようとしたり、困ったことや分からないことを、表情や動きに表したりする。</li> </ul>		
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと一緒に歌ったり、手遊びやリズム遊びをしたりすることを楽しむ。</li> <li>・身の回りにある物や遊具に関わり、見立てたり、つもりになったりして遊ぶ。</li> </ul>		
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児からの気の合う友達と一緒に遊ぶ。</li> <li>・誕生会や子供の日の集いなどの集会に参加して、楽しむ。</li> </ul>		
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との触れ合いを通して、安心して生活や遊びを楽しむ。</li> </ul>		
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで過ごすために必要な知っている約束を守ろうとする。</li> </ul>		
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児の1日の生活の流れを知る。</li> <li>・所持品の始末や身支度の仕方、トイレの使い方を知り、自分で行おうとする。</li> </ul>		
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児のときに経験した追いかけっこや固定遊具で、体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>		

3歳児

#### <指導例>

##### ◇ 好きな遊具で遊ぶ

集団の中で安心して過ごせるようにする。

##### 生活の仕方を知って、やってみよう

トイレの使い方やロッカーの使い方、荷物の置き方などを絵に描いて表示したり、手作りの紙芝居を作って見せたりして、保育者と一緒に繰り返し行う。

#### <援助のポイント>

- ・進級児は徐々に新しい環境に慣れて2歳児までの生活を引き継いでいけるように、新入児は自分の居場所を見つけて安定できるように、経験や生活の流れの違いを考慮して接していく。
- ・保育者は、温かい態度で一人一人に接しながら、子供が生活に慣れていけるように、手を添えたり繰り返し知らせたりして、個人差に配慮した援助を行うようにする。
- ・生活の流れを具体的に知らせ、安心して過ごせるようにする。
- ・進級児の不安や甘えを受け止め、一人一人が安心して過ごせるようにする。並行して、進級児が新入児に持ち物の場所を教える機会をつくるなど、できることを生かしながら遊びや生活の中で力を出すことで、進級した喜びにつなげていく。

#### <家庭との連携>

- ・進級、入園による喜びや不安を受け止め、園の様子を伝えるとともに家庭での様子を聞き、幼児も保護者も安心して園生活を楽しむことができるようにする。
- ・幼児が自分で身の回りのことができるように、扱いやすい所持品の用意を具体的に依頼する。



## 3歳児 Ⅱ期（6月～9月上旬）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの環境や様々な活動に興味や関心をもち、関わって遊ぼうとする。</li> <li>・同じ場にいる友達と一緒にいたい友達に親しみを感じ、関わることを楽しむ。</li> <li>・身の回りのことや自分でできることを行おうとする。</li> </ul>	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたい遊びや、気に入った遊具や場を見付けて繰り返し遊ぶ。</li> <li>・飼育動物や園庭の虫や草花など、身近な自然に触れて楽しむ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と挨拶を交わしたり、思ったことを話したりする。</li> <li>・「入れて」「貸して」などの遊びに必要な言葉を使ったり、友達の言葉を聞いたりする。</li> <li>・楽しかったことを保育者に言葉で伝えようとしたり、困ったことや分からないことを、表情や動きに表したりする。</li> <li>・保育者と一緒に絵本や紙芝居を楽しむ。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにあるいろいろな素材に関わり、感触を味わう、見立てる、作るなどして遊ぶ。</li> <li>・ままごとやごっこ遊びを喜び、つもりになって楽しむ。</li> <li>・歌ったり、手遊びやリズム遊び、簡単な表現遊びをしたりすることを喜ぶ。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の動きをまねたり、同じように遊んだりすることを喜ぶ。</li> <li>・クラスの友達と一緒に動いたり、誕生会や季節行事などの集会に参加したりして楽しむ。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で、自分の思いを動きや言葉で、保育者や友達に伝えようとする。</li> <li>・友達と関わって遊ぶ中で、保育者の仲介の下、相手に自分とは違う思いがあることを感じる。</li> <li>・砂や水などで遊び、開放感を味わう。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や友達との関わりの中で、よいことと悪いことに気付く。</li> <li>・みんなで過ごすために必要な約束や、簡単な遊びのルールが分かる。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活の仕方や流れが分かり、安心して生活する。</li> <li>・所持品の始末や身支度の仕方、トイレの使い方が分かり、自分でやろうとする。</li> <li>・汚れたりぬれたりしたら気持ちが悪いと感じ、自分で着替えようとする。</li> <li>・食事の準備や片付けの仕方が分かり、できることを自分でやってみる。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外に出て遊ぶことを喜び、保育者と一緒に追いかけて遊ぶことをしたり、気に入った遊具で遊んだりして、体を動かすことを楽しむ。</li> <li>・みんなと一緒に体を動かす楽しさや、戸外で遊ぶ心地よさを感じる。</li> </ul>

### <指導例>

#### ◇ 泥んこの感触を楽しもう

素材の感触や新しい遊び方に興味をもってやってみる。

#### プールごっこ

折りたたみプールの中に新聞紙を裂いて入れ、プールの水に見立てる。準備体操をしてプールに入ったり、水かけっこをしたりしてプールに入っているつもりで、開放感を味わいながら遊ぶ。

### <援助のポイント>

- ・友達への関心が出てくる時期なので、友達と一緒に動く楽しさが感じられるような活動を取り入れていく。
- ・砂や泥、水などと関わり、開放感を味わって遊ぶことで、自分の思いを十分に出せるようになっていく。
- ・9月は、長期休業明けで生活のリズムが年度初めの頃に戻ることが予想される。保育者との関わりの中で個人差に配慮した援助を行い、園生活のリズムが取り戻せるようにする。

### <家庭との連携>

- ・保護者が保育に参加する機会をつくり、体験を通して子供の姿を知ったり、保護者同士の関わりを深めたりして、園の保育・教育に関心がもてるようにする。
- ・排便後の始末（トイレトペーパーの使い方や拭き方など）について具体的に知らせ、家庭と一緒に進めていく。

## 3・4・5歳児 夏季保育（7月下旬～8月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のやりたいことを見付けたり、夏の自然に関わったりして、十分に遊びを楽しむ。</li> <li>・いろいろな友達との関わりの中で、自分の思いを表して遊ぶ。</li> <li>・夏の生活の仕方が分かり、安定して過ごす。</li> </ul>
配	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色水や石けん遊び、シャボン玉など、夏ならではの遊びを繰り返して楽しめるようにする。</li> <li>・保育者もモデルとなって一緒に遊びながら、色や泡の変化の面白さや、水を使って遊ぶ楽しさを感じさせていく。また、子供が色や泡の変化に気付いたり、色が出る草花を発見したりすることに共感し、興味や関心をもって考えたり試したりしながら、繰り返して楽しめるようにする。</li> <li>・夏に実なる植物を自分たちで世話することで、生長や収穫を楽しみにできるようにする。</li> <li>・カブトムシやザリガニなど手に持って触れることのできる生き物を飼育することを通して、生き物への親しみや、興味や関心をもてるようにする。</li> <li>・カブトムシやスズムシなど夏から初秋にかけて成虫になる昆虫を飼育して親しみ、変化に気付いたり図鑑などで調べたりしながら、興味や関心、探究心をもてるようにしていく。</li> <li>・年上の子供がしている遊びを見てまねたり、年下の子供に遊びを教えたりしながら、遊びの経験を広げていくように、互いの姿が見えるような場の工夫をする。</li> <li>・家庭や地域での経験を、遊びに取り入れて楽しめるようにする。</li> </ul>
慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園状況により、友達関係が変わったり、様々な保育者と関わることが増えたりするため、子供一人一人の気持ちを受け止め、自分の思いを出しながら安定して過ごせるようにする。</li> <li>・夏の時期にも、みんなと一緒に遊ぶ楽しさを感じることができるよう活動を取り入れていく。</li> <li>・一緒に生活する中で、様々な友達との自然な交流を見守るとともに、時には保育者が一緒に関わりながら、遊びのルールや考え方の調整をし、異年齢で遊ぶ楽しさを感じられるようにしていく。</li> <li>・異年齢の子供同士が関わることを、今までとは違う相手への関わり方を学んだり、年上の子供への憧れを育んだりする機会と捉えて援助する。</li> </ul>
点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わり</li> </ul>
生活習慣・運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の視診を丁寧に行い、健康面に留意する。</li> <li>・暑さのために体調を崩したり食欲が落ちたりするので、1日の生活の流れに余裕をもって設定し、一人一人が安定できるようにゆっくりと過ごせる環境を整えていく。</li> <li>・午睡の時間を十分に取るなど、体を休めることができるような時間と場を工夫する。</li> <li>・室内外の温度差から体調を崩すことがあるので、室内の温度調整に配慮する。</li> <li>・こまめに水分補給をするように声を掛ける。</li> <li>・プール遊びや水遊びを取り入れ、戸外で体を動かす楽しさや、水の中で動く楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・光化学スモッグなどで戸外に出られない日もあるため、室内でも巧技台を使ってアスレチックをするなど、体を動かす楽しさを感じられるようにする。</li> <li>・栽培物を収穫したり食べたりすることを通して、食べ物に興味や関心をもち、友達と一緒に食べる喜びを感じることができるようになる。</li> </ul>
<p>＜異年齢児と一緒に生活する上での配慮点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児の状況に応じて、遊びの場を区切ったり、4・5歳児と別の保育室を生活の拠点にしたりするなど、一人一人の遊びや生活のペースを大切に過ごせるように配慮する。</li> <li>・同じ遊びや活動の中でも、3歳児、4歳児、5歳児それぞれに応じた必要な経験ができるように援助する。保育者がどの子供にも適切に対応できるように、連絡を密に行う。</li> </ul>	

3歳児

4歳児

5歳児

<p>＜活動例＞</p>	
(プール遊び・水遊び)	ピニールプール、組み立て式や作り付けの大きなプール、小学校又は地域施設のプールでの水遊び、水鉄砲、ペットボトルシャワー、浮き輪、ビート板、色水、石けん遊び、シャボン玉、フィンガーペンティングなど
(自然との関わり)	カブトムシ、スズムシ、ザリガニなどの飼育、夏野菜の栽培や収穫、セミの抜け殻探し、園で飼育しているウサギやモルモットなどの世話、夕立、入道雲、木陰の涼しさなど、夏ならではの自然現象の体験など
(夏季保育中の行事)	縁日ごっこ、夕涼み会など
(その他)	地域の施設利用（図書館、児童館など）

<p>＜家庭との連携＞</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食欲が落ちたり暑さからの疲れが出たりしやすいので、十分に休息を取り、食事や睡眠のリズムを整えてもらう。</li> <li>・プールチェック表への記入を保護者に依頼し、子供の健康状態を把握して、安全にプール遊びができるようにする。</li> <li>・夏にかかりやすい伝染病の症状や熱中症の予防や対応など、夏の健康な生活に必要な情報を伝える。</li> <li>・夏季保育ならではの経験（夏の遊び、自然との関わり、友達関係の広がりなど）や、そこで見られる子供のよさを具体的な姿を通して伝えていく。</li> </ul>	



### 3歳児 Ⅲ期（9月中旬～10月）

ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達の一していることに興味をもち、自分から遊ぼうとする。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ中で約束やきまりがあることを知る。</li> <li>・伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたい遊びを繰り返す。</li> <li>・砂や水を使って遊び、感触を楽しむ。</li> <li>・自然物（木の葉や木の実など）に興味や関心をもつ。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験したこと、感じたこと、思ったことなどを保育者に話そうとする。</li> <li>・生活の中で必要な言葉が分かり、使ってみる。</li> <li>・リズムのある言葉を喜んだり、一緒に言ったりする。</li> <li>・絵本や紙芝居を楽しみにする。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な素材を使って描いたり作ったりして、表現する楽しさを感じる。</li> <li>・自分で作った物を使って遊ぶ。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ場にいる友達や保育者に関わって遊ぶ楽しさや、一緒にいる心地よさを感じる。</li> <li>・友達や異年齢児の遊びに関心をもち、仲間に入ったり一緒に動いたりして楽しむ。</li> <li>・園のいろいろな行事に参加して楽しさを感じる。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたいことをしながら、安心して遊ぶ。</li> <li>・一緒にいたい友達ができ、自分から関わっていく。</li> <li>・自分の思いを自分なりの方法で相手に伝えようとしたり、相手の思いを感じたりする。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルールが分かり、みんなで一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・自分の物、他の人の物、みんなの物の違いが分かる。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがい、衣服の着脱、排せつなどの手順が分かり、自分でしようとする。</li> <li>・保育者と一緒に自分の遊んだ遊具や用具、場を片付けようとする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊具を使う、走る、跳ぶなど体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・保育者や友達と曲に合わせて体を動かしたり、動きをまねしたりする。</li> </ul>

#### <指導例>

##### ◇ いろいろ色鬼、どんな色

保育者を中心に友達と一緒に動く楽しさを味わう。

##### 僕も私も〇〇マン

お面を付けたり手に道具（ステッキなど）を持ったりしながら、好きな曲に合わせて、なりきって動いたり踊ったりして、表現を楽しむ。

#### <援助のポイント>

- ・身の回りのことを自分からしようとする姿を見守り、認めたり褒めたりすることで自信をもたせていく。
- ・運動遊びやリズム遊びを通して、保育者も子供と一緒に体を動かしながら、その楽しさを伝えていく。また、友達や保育者と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、活動内容を一人一人の子供の状態を見ながら工夫していく。

#### <家庭との連携>

- ・運動会などの取組や参加の仕方は個人差があることを伝え、その子なりの成長を感じてもらえるようにする。また、他学年の子供の様子も見てもらい、成長への期待や見通しをもって、3歳児の成長の様子を理解してもらうようにする。

### 3歳児 Ⅳ期（11月～12月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな遊びをしたり、面白そうなことをしている友達と関わったりしながら、遊ぶ楽しさを感じる。</li> <li>みんなと一緒に活動する中で、保育者や周りの友達の動きを見ながら、自分なりに動く楽しさを感じる。</li> <li>園生活に必要なことを感じ取りながら、自分でしようとする。</li> </ul>	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きな遊びを繰り返し楽しむ。</li> <li>身近なものの色、形、多い、少ないなどの違いに気付く。</li> <li>好きなものになりきったり見立てたりして遊ぶ中で、感じたり考えたりしながら自分のイメージを表現して、楽しむ。</li> <li>落ち葉や木の実、球根など自然物への関心をもち、気付いたり見立てて遊んだりする。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びやおしゃべりの中でやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を増やしていく。</li> <li>好きな絵本や紙芝居ができ、何度も読んでもらったり、見たりして楽しむ。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>カスタンネットや鈴、手作り楽器などで遊び、自由に鳴らしたり音色を楽しんだりする。</li> <li>自分なりのイメージをもって、描くことや作ることを楽しむ。</li> <li>絵本や紙芝居を見て、好きな言葉を言ったりなりきって表現したりする。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達と同じ遊びや生活を楽しむ。</li> <li>友達と同じことがしたい、という気持ちが高まり、一緒に遊ぼうとする。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちや困っていること、してほしいことなどを、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。</li> <li>行事を通して異年齢の子供と触れ合い、楽しさを感じたり、年長児に対する憧れを感じたりする。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ。</li> <li>遊びの中で遊具の安全な使い方や動きに気付く。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗いやうがいの大切さを知り、自分でしようとする。</li> <li>箸の持ち方を知り、箸を使って食事をしようとする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>走る、踊る、鬼ごっこをするなどみんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。</li> <li>音楽に合わせたリズム遊びやボールを蹴る、ブランコに乗るなど、遊具を使った運動遊びを楽しむ。</li> </ul>

#### <指導例>

- ◇ **見て見て、葉っぱでお面を作ったよ**  
秋の季節を感じたり、自然物に関わって遊んだりすることを楽しむ。

#### サーキット遊びを楽しもう！

例) スタート→ごろごろ転がる→平均台渡り→トランポリン跳び→はって棒渡り→タンパリンをねらってジャンプ→室内鉄棒→はしご登り、室内滑り台滑り（巧技台）→はじけに戻る  
保育者の動きを見ながら遊び方を知り、様々な動きを個々に応じて楽しめるようにする。遊びながら安全な遊び方や、順番なども経験できるようにする。

#### <援助のポイント>

- 自分のイメージや見立て、言葉や動き、造形遊びなどで伸び伸びと表現する喜びを大切に。
- 一緒にいたい友達と関わるようにコーナーや遊びの場の配置に留意し、自分なりに思いを言葉や行動に表している姿を認め、安心して遊べるようにする。また、クラスの友達と一緒に活動する楽しさを味わえるようにする。

#### <家庭との連携>

- 園で楽しんでいる秋の自然に関わる遊びや、散歩コースの紅葉や木の実を拾える場所などをクラスだよりや写真の掲示などで知らせ、家庭でも自然に親しむとともに、親子の関わりを大切に。

### 3歳児 V期（1月～3月）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを出しながら好きな遊びを十分に楽しむ。</li> <li>保育者やクラスの友達と一緒にリズム遊びや表現遊びを楽しむ。</li> <li>園生活に必要なことが分かり、できることを自分からしようとする。</li> </ul>	
学びの芽生え	思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>風の冷たさや息の白さなど、冬の自然の変化を見たり、触れたりして体で感じる。</li> <li>花の開花や日差しなどから春の訪れを感じる。</li> </ul>
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に必要な言葉が分かり、自分なりに使おうとする。</li> <li>思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。</li> <li>保育者や友達と、簡単ななぞなぞや反対言葉などを楽しむ。</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある素材や材料（広告紙、小さく切った紙、小箱、カップなど）を、自分なりに選び、作ることを楽しむ。</li> <li>リズムに合わせて身近な楽器を鳴らすことを楽しむ。</li> <li>絵本やお話のイメージを楽しみ、なりたいたいものになったり動いたりするなど、自分なりの表現を楽しむ。</li> </ul>
人との関わり	協同	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者や友達のしている遊びに興味をもち、自分も関わりながら遊ぶ。</li> <li>一緒に遊びたい友達と同じ場で遊ぶ中で、自分なりの動きを出す。</li> </ul>
	信頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表しながら遊ぶ。</li> <li>保育者に励まされながら様々なことに取り組み、できたことを喜び、大きくなったことを感じる。</li> </ul>
	規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や安全に必要な簡単なきまりが分かる。</li> </ul>
生活習慣・運動	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物の整理や遊びの片付けなど自分のことは自分でしようとする。</li> <li>身の回りで必要なことを自分からしたり、できるようになったことを喜んだりする。</li> <li>やけどに気を付ける、戸外に出るときは上着を着るなど、冬の生活に必要なことを知り、自分からやってみようとする。</li> </ul>
	運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒くても戸外に出て、保育者やみんなと一緒に簡単なルールに沿って体を動かして遊ぶことを楽しむ。</li> <li>散歩を通して、坂道や歩きにくい所もしっかりと最後まで歩く。</li> <li>戸外で遊んだり固定遊具や巧技台を使って遊んだりすることを通して、いろいろな体の動きを楽しむ。</li> </ul>

#### <指導例>

##### ◇ 片付けの後は、どんな楽しいことがあるのかな

自分なりに生活の見通しをもつ。

##### つながってみよう、繰り返してみよう

「大きなかぶ」や「手ぶくろ」といった、繰り返しのあるストーリーの中で自分なりのイメージを膨らませ、役になりきってつながってみたり、繰り返しのあるセリフを言ってみたりして、友達と一緒に楽しむ。

#### <援助のポイント>

- 友達との遊びを楽しんでいることを十分に受け止め、共感する。
- 子供が自分から気付いてやってみようとする姿やできるようになったことを認めて、進級する気持ちへつなげていく。

#### <家庭との連携>

- 子供の1年間の成長を具体的に保護者と伝え合い、喜びを共感しながら進級する気持ちへつなげる。
- 個人差が大きく進級に向けての不安な気持ちをもつこともあるが、今できることを十分に認め、成長を見守ってもらうようにする。